

遺伝情報を知ること  
で  
予防できる「がん」がある。

島根にはプロバスケットボールチームがある。  
試合のある週末には  
何千人もの観客が試合会場を訪れる。  
バスケットボールは、もう島根の文化だ。  
でも、それは、当たり前のことじゃない。  
バスケットボールに関わる人たちの行動と努力が実り、  
島根に根付き、受け継がれていく。  
スポーツも医療も、社会に根付き支える文化だ。  
すべての人にとって身近な病気に「がん」がある。  
がんの研究が進み、リスクと向き合える時代になった。  
命を守るための努力が実りつつある。  
生まれつきの遺伝的な特徴によって  
「がんを発症しやすい」人がいる。  
遺伝情報を知り、自分や大切な人の健康を守る。  
そんな社会を島根に根付かせよう。  
それは世代を超えて受け継ぐことができる、  
優しくて大切な知識。

島根スサノオマジック所属  
プロバスケットボールプレイヤー  
津山 尚大  
つやま・しやうた

島根大学医学部附属病院  
臨床遺伝・ゲノム医療センター  
松江市立病院  
ゲノム診療科 がんゲノム診療委員会

この知識は  
世代を超えて、  
受け継げる。

ご相談は以下の施設まで

島根大学医学部附属病院  
臨床遺伝・ゲノム医療センター

[www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/rinsyoiden\\_shinryobu/](http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/rinsyoiden_shinryobu/)



松江市立病院  
ゲノム診療科

<https://www.matsue-cityhospital.jp/cancer/c-center/genomesinryo.html>



〈企画〉

島根大学医学部附属病院 臨床遺伝・ゲノム医療センター / 松江市立病院 ゲノム診療科 がんゲノム診療委員会

〈協力〉

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム 島根大学がんプロ事務局 / しまね遺伝医療ネットワーク

厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業  
「ゲノム情報に応じたがん予防にかかる指針の策定と遺伝性腫瘍に関する医療・社会体制の整備および国民の理解と参画に関する研究」班

# 津山選手が聞く 遺伝とがん

## Q & A



がんは遺伝  
するのですか？

がんという病気が遺伝するのではなく、  
がんの発症しやすさが遺伝することがあります。  
がん患者さんの10%程度の方が、  
生まれつきがんを発症しやすい遺伝的特徴を持つと言われています。  
こうした特徴の多くは、親から子へ1/2の確率で伝わります。  
このような特徴を持ち発症するがんや腫瘍を遺伝性腫瘍（いでんせいしゅよう）といいます。



遺伝とがんについて  
知ろうホームページ  
[iden-gan.jp](http://iden-gan.jp)



島根大学医学部附属病院  
認定遺伝カウンセラー  
荒木もも子



『がんの発症しやすさ』が遺伝するということですね。  
自分が、がんになりやすいのかどうか、どこで相談できますか？

島根県内では、

松江市立病院

松江赤十字病院

島根県立中央病院

島根大学医学部附属病院

で 遺伝カウンセリング 及び 検査 が可能です。

血液検査により遺伝情報を調べ、  
遺伝カウンセリングとあわせて診断を行います。

しまね遺伝医療ネットワークのHPをごらんだいただき、  
相談できる施設のHPをご確認ください。

しまね遺伝医療  
ネットワーク



島根県内で  
遺伝相談が可能な施設を  
紹介しています。  
[https://www.mshimane-u.ac.jp/hospital/rinayoiden\\_shinyobu/genetics-network.html](https://www.mshimane-u.ac.jp/hospital/rinayoiden_shinyobu/genetics-network.html)



松江市立病院  
認定遺伝カウンセラー  
竹下美保



遺伝カウンセリングという言葉をはじめて聞きました。

遺伝に関するあらゆる悩みを相談できる場です。

私達認定遺伝カウンセラーや臨床遺伝専門医など遺伝医療を学んだ医療者が対応します。  
相談にいらした方の考えや思いをお聴きし、意思決定のご支援をいたします。

### がんに関連した相談例

- 自分の家族はがんが多いから、遺伝性なのか知りたい。
- 主治医に「遺伝性のがんの可能性がある」と言われた。詳しいことを教えて欲しい。
- 祖母は卵巣がん、母は乳がんにかかった。私もがんのリスクがあるか知りたい。
- 遺伝子検査でがんを発症しやすいことがわかった。今後の対策を知りたい。
- 遺伝性の大腸がんと診断された。家族もがんになりやすいのか心配。



島根大学医学部附属病院  
認定遺伝カウンセラー  
大越寛子



自分の遺伝的特徴を検査して知っておけば  
自分はもちろん、家族みんなのがん予防に、  
この知識を役立てることができそうですね。

「将来がんを発症しやすい」と知ること、不安になることもあるかもしれません。

しかしがんは早期発見で、根治することが可能な病気です。

自分の遺伝情報を知り、がん予防につなぐことを私たちは長期にわたり支援いたします。



健康を守ろう。  
自分や大切な人の  
遺伝情報を知り、